



(本社)

株式会社PDI

和歌山県岩出市中黒



統括部長
清水 達記さん

新しいことへのチャレンジ ～あらゆるものに新たなカタチを～

「御社の歴史を教えてください。」
当社は国内に馴染みのないというポイントがあり、海外展開を始めるにあたり、国内での許容される低圧空気の技術を活かして、現在製造の開始をいたしました。防犯用のカラーボールの製造・販売やエアソフトガンなどの製造・販売も行っています。また、当社は発射装置を通して社会貢献をすることを目的として、警察や自衛隊などにも納めており、警視庁の訓練などにも協力した実績があります。

「ものづくり」へのこだわりを教えてください。
エアソフトガンと聞くと、おもちゃや工業製品を作る部分などもあり、精度が問われますが、実銃よりも取り組む良さを求めています。製品は品質の良さから海外での評価も高く、メイドインジャパンのプライドを製品に込めて製造しています。自社生産しており、企画・開発・製造・販売を一貫して行っており、このこだわりです。また、当社は来年で三十周年を迎え、「新しいことへのチャレンジ」をスローガンに掲げ、宇宙から流星源を放射させる、人工的に流れ星を作る「SKY CANVAS」事業に協力し、人工流れ星の発射装置の開発に携わったり、最近では当社のエアソフトガンや非接触式の分野でも製品開発にチャレンジしています。常にチャレンジングな精神を持って、当社にしかできないことを考えています。


「この仕事に就こうとしている人」にアドバイスをお願いします。
日常業務はシビアな面もあり、作り、提案し、販売までできる環境です。自分のアイデア・能力を存分に発揮して貢献したいという方をお待ちしています。多くのことにトライできる環境です。

「人材育成について教えてください。」
当社の発射装置はスポーツから始まり、防犯やホビーなど様々な分野に活用されています。この開発を支えてきたのは、社員の柔軟な発想力にあります。様々なアイデアや発想が、環境作りを意識して提案が、すべてに活かされています。また、社内での意識付けを大事にしています。さらに、当社独自の取り組みとして、チャレンジ精神のある方には空き時間を使って好きな物を作ってもらいたい、技術の向上やもてらる、この取り組みから生み出された製品もたくさんあります。創業時から社員もたくさんいます。発射装置の魅力を伝えていきます。



防犯用発射装置
BorMar

修了生の声(CAD・NC技術科)
令和元年8月修了
酒井 崇秀 さん(52歳)



今まで自動車関連の機械ライン作業やナットの生産業務など、製造業に従事してきました。ものづくりに興味があり製造業で仕事をしたいと思っていましたが、機械加工の技術を基礎から習ってみたいと思い、ポリテクセンターのCAD・NC技術科へ入所を決めました。訓練では旋盤やフライス盤などの機械加工を基礎から学び、自分の手で加工して課題部品を作ることができ、徐々に技術が上達していくことを感じられ、ものづくりの喜びを味わうことができました。

「ポリテクセンター和歌山に期待することは？」
当社では試作に3Dプリンタを多く活用しています。3Dプリンタは簡単に用意でき、意外にノウハウが必要な機械です。試作や活用という観点でFDM形式の3Dプリンタは現代ではさらに活躍の場が増えてはいるかと思いますが、是非とも検討頂きたいです。また、令和2年度から始まるCNC・生産サポート技術科にも期待しております。機械技術科だけでなく、管理面など幅広くなると期待しています。当社は戦力になりやすく、工場からの方へは積極的に採用しています。

「機械は未経験で、不安な気持ちでポリテクセンターへ入所しましたが、先生や先輩方も優しく丁寧に指導してくれたので、すぐに不安もなくなり、楽しく覚えることができました。基礎から見直すのがポリテクセンターだと改めて思いました。」

「だと思っています。」
(令和2年11月取材)



PDI初のZSRTブランド製品
フルコンプリートライフル